


## 報道機関各位

令和元年（2019年）11月26日（火）配付

項目	第1回オホーツク新規就農者対策会議の開催について
配付資料	オホーツク新規就農者対策会議設置要領（案） オホーツク農業を未来に繋ぐ！「SyuNoh」推進事業
内容及び報道に当たってのお願い	<p>オホーツク総合振興局では、新規参入者の安定的な確保を目的として、振興局独自事業により、『オホーツク農業を未来に繋ぐ！「S y u N o h」推進事業』を今年度から実施しております。</p> <p>この事業の中で、新規就農対策や就農可能地の情報共有、新規参入者に対する一体的な PR 活動等をすすめることを目的として、市町村、農協、関係機関を構成員とした対策会議を、次のとおり開催することとしましたので、お知らせします。</p> <p>なお、11月28日の会議内で対策会議の設置を決定予定です。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 開催日時 令和元年11月28日（木） 13:30～16:00</p> <p>2 開催場所 オホーツク・文化交流センター大会議室（エコーセンター2000） （網走市北2条西3丁目3）</p> <p>3 内容 （1）道内・オホーツク管内の新規就農の状況について （2）新規就農者対策の今後の取組みについて （3）事例発表 ①津別町農業協同組合～（有）だいちの取組み等について ②遠軽町農業担い手対策協議会～協議会の取組みについて （4）情報交換 ～各地域の新規参入の現状について （5）その他</p>
担当窓口	<p>オホーツク総合振興局産業振興部 農務課長 矢花 修 直通電話 0152-41-0660 内線2700</p> 

## オホーツク新規就農者対策会議設置要領（案）

### 1 趣 旨

オホーツク管内の農家戸数は 2000 年～2015 年の 15 年間で 35%、農家人口は 40%減少し、経営規模の拡大により地域で離農跡地を引き受けてきたが、今後、引き受けが困難となることが懸念されている。

オホーツク農業の持続的な発展には、新規就農者の安定的な確保が必要であり、特に、農村の集落機能やコミュニティの維持のためには、農外からの新規参入者の一層の拡大が必要である。

このため、オホーツク管内の市町村、農協、関係機関が連携して、新規就農対策や就農可能地の情報共有、新規参入者に対する一体的な PR 活動等をすすめることを目的に、「オホーツク新規就農者対策会議」（以下、「対策会議」という。）を設置する。

### 2 構 成

対策会議の構成員は、別表のとおりとする。

### 3 会議の招集

対策会議は、北海道オホーツク総合振興局産業振興部長が招集する。

### 4 協議事項等

対策会議は、次の事項に取り組むこととする。

- (1) 新規就農対策や就農可能地の情報共有を図ること
- (2) 地域の知名度向上のため、“オホーツク”が一体となった新規就農者対策の PR に取り組むこと
- (3) その他必要な事項について検討すること

### 5 庶 務

対策会議の庶務は、北海道オホーツク総合振興局産業振興部農務課において処理する。

### 6 雑 則

この要領に定めるもののほか、必要な事項は、対策会議において別に定める。

### 附 則

この要領は、令和元年〇月〇日から施行する。

【別表】

オホーツク新規就農者対策会議

構 成 団 体	職 名
各市町村	課長（農務主管課）
各農業委員会	事務局長（事務局長を部長職が務めている場合は、課長職とする）
各農業協同組合	課長（新規就農担当部署）
北海道農業協同組合中央会北見支所	主査
ホクレン農業協同組合連合会北見支所	営農支援室 主任技師
オホーツク農業協同組合連合会	主任
日本政策金融公庫北見支店	融資課長
北海道オホーツク総合振興局	産業振興部長 網走農業改良普及センター主任普及指導員 産業振興部農務課長

# オホーツク農業を未来に繋ぐ！「SyuNoh」推進事業

オホーツク農業の持続的な発展には、**新規就農者の安定的な確保が必要**であり、特に、農村の集落機能やコミュニティの維持には、**農外からの新規参入の一層の拡大が必要**であるため、新規参入者の受入拡大を図る取組を一体的に推進

## 【現状・課題】

- 管内の農家戸数は、**15年前と比べて34%減少**
- 1戸あたりの**耕地面積の一層の拡大**
- 人手不足などから今後、**遊休農地の発生が懸念**
- 人口減少から、農村の**集落機能の低下が懸念**

## 【目指す方向】

- 就農しやすさを向上させ、**新規参入者の増加**
- 離農予定者のスムーズな**経営継承、就農地確保**
- 就農事例が少ない「**畑作**」等での**就農拡大**
- **オホーツクの知名度向上と地域の活性化** など

## 具体的な取り組み内容

取り組み項目		R1	R2	R3	概	要
<b>(1) 広域的な 連携組織の形成</b>	連携組織の立ち上げ	○	○	○	会議の開催、就農可能地・受入に関する情報共有、研修会の開催	
	就農相談フェア等へ参加	○	○	○	オホーツクをPRする資材作成、地域への関心を高めて就農相談フェア等への参加	
	優良事例の実態調査	○	○		事例調査	
<b>(2) 希望に応え られる就農地 確保の推進</b>	優良事例等の調査・分析	○	○		「農家の定年」、「居抜き」に関する事例調査	
	研修会の開催		○	○	円滑な就農地確保に向けた研修・意見交換等	
<b>(3) 多様な 就農の拡大</b>	事例分析と紹介事項の検討	○			事例収集・分析、経営シミュレーション作成等	
	パンフレットの作成		○	○	先輩農業者の紹介等での普及・啓発	
	東京農業大学セミナー等開催	○	○	○	大学と連携し、地元での就農を選択肢の一つとしてもらえるよう、セミナー等の開催	

市町村などの  
関係者が連携  
した  
一体的取組

オホーツクへ！

就農相談者の増加 ・ 就農者の増加